

●6年制学科のカリキュラムの特色

徹底した少人数制による薬剤師実務教育を進め、病院・薬局実務実習の前に合計 333 時間に及ぶ薬学臨床にかかわる授業を実施。また「薬学教育モデル・カリキュラム」をベースに、学科科目を「薬学基幹科目」「物理系薬学」「化学系薬学」「薬学臨床」「衛生薬学」「法規・制度」「製薬産業系」「グローバル薬学科目」等の 13 分野に分類。薬剤師の基本的資質や能力を、系統的に身につけるカリキュラム編成となっています。4 年次には「薬学総合演習」により薬学共用試験 (OSCE、CBT) に備えた講義、演習、実習を実施。5 年次から 6 年次には「卒業研究」を行い、6 年次には「薬学総合演習」により国家試験に対応した各科目の再学習による総仕上げを行う等、国家試験対策に徹底的に取り組みます。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

希望調査により、学生の希望に沿った施設で実習できるよう配慮しています。病院実習は大学病院を中心に約 45 施設を確保し、充実した実習ができるよう環境を整えています。ふるさと実習を推進しており、山梨県と長野県に関しては、大学病院で実習できるよう宿泊施設を大学が無償で提供しています。薬局実習は出身地で実習する学生が多くいます。

●病院実習先・薬局実習先

東京大学医学部附属病院、山梨大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院、順天堂大学医学部附属病院 (3 病院)、東海大学医学部附属病院 (2 病院)、JR 東京総合病院、横浜市立市民病院など各地区調整機構の薬局

●アドバンスド臨床実習

回答なし

●多職種連携教育の具体的な内容

本年度より日本医科大学と連携して多職種連携演習を必修として実施します。医学部 3 年生と薬学部 4 年生を少人数グループに分けて、各キャンパスで問題基盤型学習を行います。また、本学には専門職を目指す医療・福祉系学科として薬学科の他に、看護学科、社会福祉学科、言語聴覚士養成コースの 3 学科 1 コースがあります。令和 4 年度から学科横断の選択科目として「むさしの IPE (医療福祉専門教育と社会の連携教育)」を開講し、各専門職の体験とグループワーク発表会を行います。それまでは、「むさしの IPE」として、これらの学生が専門職連携を学ぶことを目的に、学科横断型に 2016 年から年に 2 回 (計 10 回) のイベントを開催してまいりました。毎年 9 月に開催される体験型イベントでは、主にそれぞれの学科体験を行いました。具体的には、薬学科

は調剤体験、看護学科はフィジカルアセスメント体験、社会福祉学科はソーシャルワーク体験、言語聴覚養成コースは AAC (拡大・代替コミュニケーション) 体験を実施してまいりました。また、毎年 2 月には思考型イベントとして各学科の実習報告会を開催してまいりました。イベントに参加した学生は、「他の専門職について知ることによって、自らの専門性の学びを深めることができた」と有意義な教育に繋がっていました。

この他、以下の項目に関し実際に業務を担当している方々に経験談を含んだ内容を講義していただいている。

1. ケアマネジャーと薬剤師のかかわりについて、
2. 薬剤師の在宅訪問業務について、
3. 訪問看護師と薬剤師のかかわりについて、
4. 行政と薬剤師のかかわりについて、
5. 地域包括支援センターと薬剤師のかかわりについて、
6. 医師と薬剤師のかかわりについて、
7. 西東京市在宅療養連携支援センターと薬剤師のかかわりについて、
8. 在宅支援診療所の看護師と薬剤師のかかわりについて、
9. 言語聴覚士と薬剤師のかかわりについて、
10. 医療ソーシャルワーカー (MSW) と薬剤師のかかわりについて、
11. ヘルパーと薬剤師のかかわりについて、
12. 薬剤師の地域での役割について

●多職種連携教育を行う医療施設名

医療施設はなし

●薬剤師国家試験への取り組み

本学では薬学キャリア教育研究センターを設置し、薬学共用試験 (CBT、OSCE) や薬剤師国家試験合格に向けて全面的な支援を行っています。1 年次から卒業まで長期的戦略に則った対策プログラムに加え、学力強化活動、自宅のパソコンでも学習できる e-ラーニングなどの学習環境を整え、学生が安心して試験に臨めるようなさまざまな支援を行っています。また、充実した臨床実習も実施しており、この経験を国家試験の実務問題対策にも活用しています。

●卒業研究について

5・6 年次の「卒業研究 1・2」は、必修科目として開講されています。主に 1～4 年次までの学習、あるいは病院・保険薬局での実習体験を踏まえて、学生が主体的に学修できる研究テーマを設定し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得すると同時に、それを生涯にわたって高めつづける態度を養うために

、学生の卒業後の進路やニーズに応じて、各研究室を中心とする演習形式や実験形式の卒業研究を実施します。自分の学術的探究心や将来の進路に合わせて学修し、薬学部主催の卒業研究発表会において全員が卒業研究の成果を発表します。

2022 年度までの研究室配属は 4 年次の 2 月からでしたが、2023 年度からは、全 4 年生が 4 月から研究室に配属されることになりました。配属学生の中でも、研究の実施を希望する学生は専門的な薬学研究を早期に体験することによって研究力を養うことを目的とする「研究者養成コース薬学研究」と呼ばれる選択科目を受講することができ、担当教員の指導を受けながら各研究室のテーマに沿った研究を実施しています。また、卒業研究 2 を実施中に科目等履修生として大学院修士課程の科目を履修し、卒業後に更に研究を実施して修士論文の提出と発表を行い、1 年で修士の学位を取得できる制度も存在しています。

●入試の変更点

回答なし

●入試に合格するためのアドバイス

回答なし

●過去問を公開しておられますか

※現在は公開しておりません。
※例年、過去一年分のみ以下 URL にて掲載しております。掲載のない年度、科目および解答は非公開となります。

<https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/pastpapers.html>

●面接や小論文について教えてください

回答なし

●大学独自の奨学金制度

回答なし

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

回答なし

●オープンキャンパスの日程

6月18日・6月25日・8月19日・8月26日・11月23日・3月17日

詳細は決まり次第ホームページにて公開